

渋谷 PARCO 建替え工事仮囲いを「アートウォール」として活用 漫画家・映画監督の大友克洋氏 2019年東京を舞台にした『AKIRA』

株式会社パルコ（本部：東京都渋谷区、代表執行役社長：牧山浩三、以下パルコ）は、建替えのため一時休業中の渋谷 PARCO の工事仮囲いを「アートウォール」として活用し、情報発信を行うことにより、公園通りエリアのにぎわい創出と来街者の増加に貢献いたします。世界的アーティストである漫画家・映画監督の大友克洋氏とこれまでも共同制作をしているコラージュアーティストの河村康輔氏による『AKIRA（アキラ）』のアートが5月17日（水）を第1弾として今後登場して参ります。

現在、渋谷駅中心地区をはじめ、渋谷 PARCO や区庁舎の建替え工事等が進捗している中、渋谷 PARCO 建替え工事期間中のエリアマネジメントの取組みの一環として、エンタテインメントシティ渋谷に相応しい話題性・アート性の高いコンテンツを「アートウォール」にて展開することにより、国内外への渋谷文化の情報発信を行います。また、工事期間中の新たな公園通りエリアの名所としてにぎわいを創出し、工事期間中のまちの活性化を図ります。

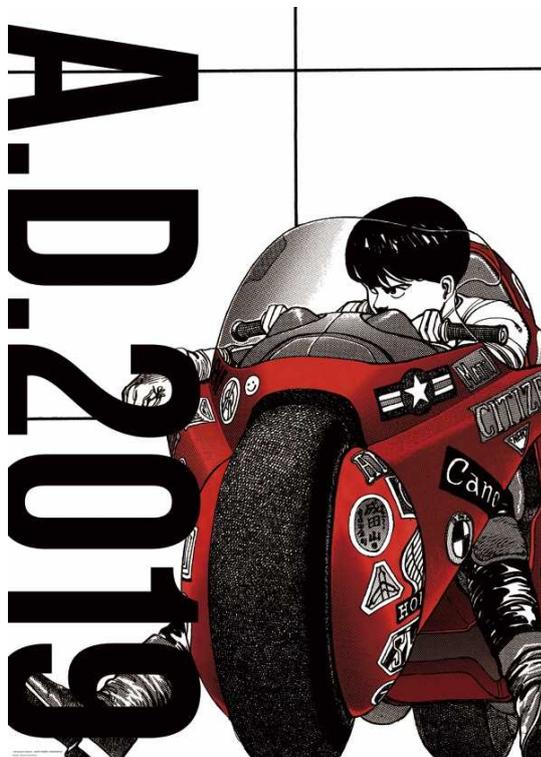
<アートウォール実施概要>

日時：2017年5月17日（水）～2019年夏頃

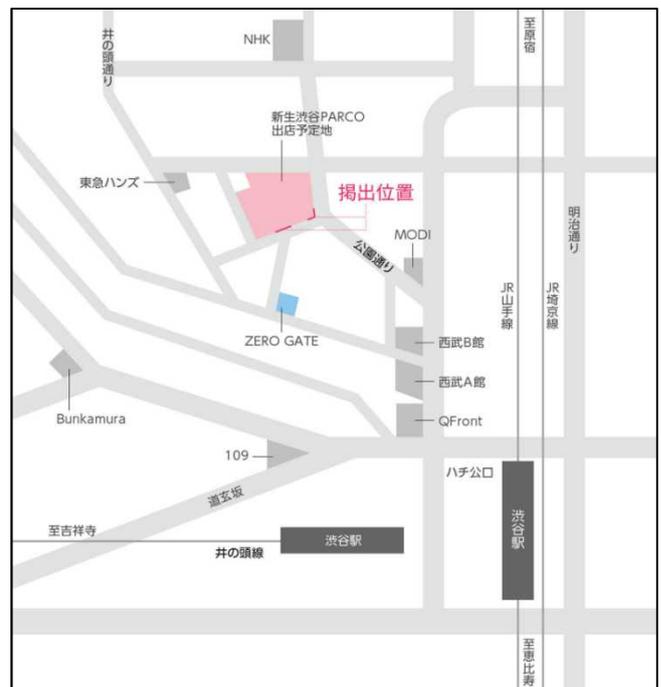
場所：渋谷区宇田川町 15 ※図参照

展示作品数：1点（2017年5月現在）※同じ作品が2箇所に掲出されます

展示作品サイズ：タテ 2.1メートル、ヨコ 1.5メートル



※ビジュアルイメージ



※掲出位置

<本件に関するお問合せ先>
株式会社パルコ 広報/IR室 TEL03-3477-5710 小野 ono-jun@parco.jp

アートウォール作品について

大友克洋氏の『AKIRA（アキラ）』の世界観を表現した作品を展開いたします。本作品は、2019年の東京が舞台で、2020年の東京オリンピック開催も予言され話題となっております。また、映画化され日本国外でも高い評価を得ており、海外からの旅行者も多い渋谷での展開にふさわしいため、今回の取り組みとなりました。

<大友 克洋（おおとも かつひろ）>

日本の漫画家、映画監督。代表作に『童夢』『AKIRA』など。ペンタッチに頼らない均一な線による緻密な描き込み、複雑なパースを持つ画面構成などそれまでの日本の漫画にはなかった作風で、80年代以降の漫画界に大きな影響を与えた。1988年、自作を元に自ら制作したアニメーション映画『AKIRA』は日本国外でも高い評価を獲得、「ジャパニメーション」と呼ばれる、日本国外における日本アニメムーブメントのさきがけとなった。

- ・1984年 第8回講談社漫画賞一般部門受賞
- ・1992年 オールカラー国際版 AKIRA がアイズナー賞最優秀彩色部門を受賞
- ・2002年 アイズナー賞最優秀国際アーカイブプロジェクト部門および最優秀国際部門を受賞
- ・2005年 フランス政府から、芸術文化勲章シュバリエを受章
- ・2013年 日本国政府から、紫綬褒章を受章
- ・2014年 フランス政府から、芸術文化勲章オフィシエを受章
- ・2015年 第42回アングレーム国際漫画祭・最優秀賞を受賞

<河村康輔（かわむら こうすけ）>

グラフィックデザイナー、アートディレクター、コラージュアーティスト。

「ERECT Magazine」アートディレクター。

サンフランシスコでの個展「TOKYO POP!!」（2011年）、「大友克洋×河村康輔」コラボレーション展『Re:construct in TOKYO』@A BATHING APE（2014年）を始め、スイス、ドイツ、フランスなど国内外の様々な美術館、ギャラリーで個展、グループ展を開催。代表的なアートワークに、「大友克洋 GENGA 展」メインヴィジュアル（2012年）、田名網敬一作品集『glamour』の100冊限定表紙コラージュ（2013年）、映画『SHORT PEACE』のメインヴィジュアル（2013年）等。

これまでに作品集『2ND』（ERECT Lab.）、『MIX-UP』（ワニマガジン社）、『22Idols』（ERECT Lab./Winston Smithとの共著）、対談集『1q7q -LOVE AND PEACE-』（東京キララ社）を刊行。ファッション雑誌「EYESCREAM」、季刊誌「TRASH-UP!」（根本敬氏と共作の実験アート漫画「ソレイユ・ディシプリン」）にて連載を持つ。

2017年、大友克洋氏と共作で「INSIDE BABEL」（ブリュージュ「バベルの塔」展）を制作。